

事業名	目的	概要	成果	事業費の主な内訳
○心の教育推進に要した経費 225P 予算の主な内容 ①教育相談員報酬 5,930 千円 全校配置分 ②SC 報酬 2,643 千円 市採用（臨床心理士） ③PTA 活動支援 600 千円 ④その他諸費 報酬 3,026 千円 ・乙中少人数学級教諭 ・いじめプロ事業（武藤 備品購入費 485 千円 ・学校サポート事業	<p>■心の教育推進プラン（H18年策定）の中期プログラムの目標である、いじめの根絶に向けた、行動指針となる「改革と行動プログラム」の具現化のための事務事業</p> <p>■教育相談体制の充実 ・教育相談員 ・スクールカウンセラー</p> <p>■PTA活動として取り組む家庭教育講座や図書整備への補助</p>	<p>■道教委指定「いじめ対策連携プロジェクト」と文部科学省指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」を中心に事業展開した。事業内容は別紙。</p> <p>■児童生徒の問題行動への対応や生徒指導体制を充実させるために、学校に配置</p> <p>■学校単位ごとのPTA活動を通して、家庭における子どもを育てる講座などを支援</p>	<p>■委託事業成果は別編集</p> <p>■学校の生徒指導体制の中に位置づけ、きめ細かな対応が可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員（教諭等）7校 ・教育相談員（大学生）2校 <p>■少人数指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級支援教諭 2校 <p>■子育て講座などの情報交流を通して親同士のネットワークづくりに成果があつた。</p>	<p>①教育相談員報酬 4,881 千円 ②SC 報酬 2,603 千円 ③PTA 活動支援 600 千円 ④その他諸費 報酬 3,000 千円 ・乙中少人数学級教諭 ・いじめプロ事業（武藤 備品購入費 485 千円 ・学校サポート事業</p>
○適応指導教室の運営に要した経費 225P 予算の主な内容 ①指導員賃金 1,039 千円	<p>■不登校児童生徒の通級指導教室での学習支援や教育相談を通して学校への復帰</p>	<p>■通級指導教室「ふれあいルーム」の運営 拠点 中央児童センター 指導体制 嘱託（教諭資格）2名 臨時（教諭資格）1名</p>	<p>■通級実績等は別紙</p>	<p>①指導員賃金 1,039 千円</p>

いじめ対策連携プロジェクト・緊急実践事業 ※歳入 1,560,289 円	新たないじめ対策プログラムの確立に向け、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域ぐるみでいじめの根絶に向けた取組を推進するための効果的な方策について調査研究を行う。	①いじめ対策連携プロジェクト会議の設置	⇒市内の関係機関・団体から推薦のあった委員が一堂に会していじめ対策に関する意見を交流できた。	対象事業費 ●心の教育推進に要する経費
		②いじめに対応する校内システムの構築 ③カウンセリング研修会の開催 ④放課後子ども活動推進事業 農業体験学習・老人福祉大学との交流活動・外国青年との国際交流活動 ⑤大学生フレンドシップ事業 西小・東栄小へ國學院短大生を派遣 ⑥ようこそ！先輩！事業 21年3月 こうたろうコンサート、山崎修さんと語る会を実施 ⑦地域連携教育セミナー事業 11月29日教育講演会 講師：小森美登里氏 演題：「いじめって何ですか？」～いじめに対する大人の認	⇒「いじめ問題指導マニュアル」を21年2月に発行。 ※市内教職員に配布し、活用 ⇒教職員のカウンセリング技術の向上をはかる。 ⇒地域の方、高齢者、異年齢の子どもたちが交流の中で、他人への感謝や思いやりの心を育んだ。 ⇒子どもと年齢の近い大学生を活用することで、子どもが相談しやすい体制を作り、児童の望ましい人間関係づくりを支援した。 ⇒滝川市にゆかりのある人材を活用した特別授業等を展開し、いじめ防止や人間関係の大切さ等のメッセージを伝えた。 ⇒いじめによるわが子の自殺という体験をした講師による講演内容を通して親と子どもの関わり方やいじめに対する大人の認	コーディネーター報酬 576,000円 教育相談員（大学生）報酬 183,000円 報償費 276,997円 旅費 21,040円 消耗品費等 524,292円 計 1,560,289円

		人の認識を考える～ 参加：保護者、一般住民、 教育関係者など約 300 名	識等について学ぶことが できた	
★道徳教育実践研究事業 ※国費支出のため予算 計上なし	各都道府県において、学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭、及び地域の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより道徳教育の充実に資する。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育実行委員会の開催（3回） ・専門部会員による授業実践（6回） ・道徳教育研修会の開催（8月5日、講師：道教育大学院教授 笠井稔雄氏） 内容：「これから道徳教育の在り方」 ・道徳教育実践発表会の実施（滝川第一小、江部乙小） 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果物として、実践報告書及び指導案集を作成し、市内小中学校や管内教育委員会（24市町）等へ配布し、市内のみならず、管内の道徳教育の充実に寄与した。 	※国費事業費 <u>583,733 円</u>
★スクールカウンセラー活用事業（北海道） ※道費支出のため予算 計上なし	学校における教育相談体制の充実を図るため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有する者をスクールカウンセラー（2名）として配置し、それらを活用する際の諸課題についての調査研究の実施を行う。	江部乙小学校、江陵中学校、明苑中学校、開西中学校、江部乙中学校へスクールカウンセラーを派遣し、昼休み、放課後などを活用した児童生徒のカウンセリングや生徒との接し方に不安を抱えている保護者を対象としたカウンセリングの実施、また、スクールカウンセラーと担任・養護教諭との連携、守秘義務を前提にしつつ担任等との情報の共有を図った。	<p>相談室などを設置し、不安をもつ児童生徒の心の居場所を確保することや問題行動に対してスクールカウンセラーを緊急派遣し、加害者・被害者等に対応することができた。</p> <p>また、スクールカウンセラーと学校、保護者との連携が図られ、スクールカウンセラーの役割などが理解されるようになった。</p>	<p>※道費事業費 <u>3,119,880 円</u></p> <p>※スクールカウンセラー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関 勲氏（開西中） 勤務 週1日 4時間 ・河原 由紀氏 (明苑、江陵、江部乙小・中) 勤務 週1日 4時間 (明苑・江陵) 週1日 6時間 (江部乙中) 週1日 2時間 (江部乙小)